

# 令和4年度桃山台地区タウンミーティング開催報告

日時：令和4年（2022年）7月29日（金）

午前10時30分から午後0時30分まで

場所：桃山台市民ホール

桃山台市民ホールにおいて、タウンミーティングを開催しました。この日は、市長が、『データに基づく吹田市の今とこれから』と題したスライドを用い、「吹田市はどんな街？」について講演し、参加者の皆さんとの質疑応答を行いました。

## 1 「吹田市はどんな街？」

様々なデータに基づき、吹田市の現状と課題、まちづくりの進捗状況について具体例を交えて解説しました。

## 2 質疑応答の主な内容

**参加者** 桃山台地区は、高齢者が多く、4割近い。今後も高齢者が増え、介護が必要な方も増えてくる。認知症軽度な方は、地域で見守ることも必要だが、市は地域に何を望むのか。また、府営住宅に入居できるのは家族のみであるが、仲良しの友人とルームシェアすることで、お互い助け合うことも可能。市から府に要望することはできないか。

**市長** 認知症の問題は本当に重い問題。地域の方が、見守りできるのは、家から外の話で、家庭内は無理。徘徊している方への声掛けなど、隣近所、向こう三軒両隣の地域力に期待している。

**参加者** 先日、市長杯の部活動の大会の件で教育委員会に電話をしたら、たらい回しにされるなど、腹立しい思いをした。

**市長** その件は教育委員会の所管ではなかったとはいえ、初動の対応が悪かったことについては残念に思います。

**参加者** 災害時に支援が必要な方が、どこにいるのかがわからない。担当所管からは、検討させてくださいと言われているが、一人でも多くの方を助けるため、希望する単一自治会にも災害時要援護者支援の名簿を頂きたい。

**市長** 災害時、援護が必要な方をほっとけないというお気持ちに頭が下がります。しかし、名簿をお渡しするのは、現在、連合自治会長のみ。ある程度の戸数がある単一自治会は連合自治会に相当する扱いにできないか、また、継続性の問題など、担当所管が検討していることは聞いている。

**参加者** 市の職員も自治会活動や地域の行事に参加してもらいたい。

**市長** 公務員の地域活動の休暇制度は、全国で少しずつ始まっている。少なくともOBには地域を担ってほしい。

